

# 「南予地域柑橘農業復興対策チーム」における今後の対応方針

## 1 背景

「南予地域柑橘農業復興対策チーム」においては、平成30年7月豪雨により被害を受けた南予地域の柑橘農業の早期復興に向け、地域内の関係機関が一体となり、短期対策から中・長期対策までを一元的に対応してきたところであるが、被災園地・施設の復旧も進み、令和6年3月には玉津地区再編復旧園地「白浦工区」において一部園地が営農再開したことから、今後は復旧園地の営農支援及び災害に強い園地づくりの推進等に重点を置くこととして、同チームの対応方針を見直すこととする。

## 2 今後の対応方針について

(1) 完全復興（全ての再編復旧園地の営農再開）までは名称変更などせず、現体制を維持する。

(2) 任務について、短期的な応急対策中心の取組みから、復旧園地の営農支援及び災害に強い園地づくりの推進等に一新する。

### <任務及び活動内容>

#### ○ 復旧園地の営農支援に関すること

- ・再編復旧工事の進捗状況確認、土づくり対策、早期成園化に向けた大苗生産、県育成品種の推進など、これまでの営農支援対策の取組みを継続
- ・植栽済原形・改良・再編復旧園地の状況確認、営農再開に向けた課題及び対応方策の検討

#### ○ 災害に強い園地づくりの推進に関すること

- ・災害に強く省力化に対応した園地への転換を推進
- ・関係機関連携会議や現地研修などにより「災害に強い園地整備手法確立事業」や「傾斜園地作業効率モデル整備事業」等の横展開を検討
- ・災害に備えた園地管理に関する啓発活動

#### ○ その他柑橘農業の復興に関すること

- ・必要に応じて、上記以外の柑橘農業復興に係る事項について協議

(3) 状況に応じてチームメンバー以外の参集も求め、より実務的な会議とする。

(4) 復旧園地の状況だけでなく、復興に向けた動向や対策など積極的なPRに努める。

## 3 今後のスケジュールについて

6月下旬 要綱改正

9月中旬 第22回チーム会議及び現地確認